

行政視察報告書

令和6年10月17日

長浜市議会議長 様

長浜市議会議員 伊藤喜久雄

私が出席した次の行政視察の結果について報告します。

記

1. 視察等名 行政視察
2. 視察期間 令和6年10月7日(月)～10月9日(水)
3. 視察場所及び目的
 - ①宮城県利府町
「利府町まち・ひと・しごと創造ステーションについて」
 - ②大川震災伝承館・南三陸 311 メモリアル
「災害の伝承について」
 - ③宮城県南三陸町
「南三陸病院・総合ケアセンターについて」
 - ④平泉世界遺産ガイダンスセンター・平泉文化遺産センター
「文化遺産の継承について」
4. 調査内容感想等
 - 「利府町まち・ひと・しごと創造ステーションについて」(利府町役場)
 - ①設置までの経過
総合戦略の策定に向けて、宮城大学学生と町職員のワークショップや宮城大学学生とのヒアリング調査の実施
平成27年3月：加速化交付金採択(68,500千円)
平成28年6月：宮城大学との連携協定
 - ②事業の考え方

長 浜 市 議 会

総合戦略の「核プロジェクト」として掲げた地方創生の拠点施設として、ソフト・ハード・運営を一体的なプロジェクト事業と位置付けをして国に申請を行う。

【ソフト事業】

- ・施設づくりワークショップ

協働の施設づくり・施設への愛着づくり・若者の発想、完成の反映

【ハード事業】

- ・拠点施設の整備

移転可能なユニットハウス・カフェ機能・交流型施設

【施設運営】

- ・市民活動サポート・起業創業支援・チャレンジショップ運営・情報発信等

③本事業の特徴

施設づくりワークショップを8回開催（アイデア出し）



Tsumiki の運営スタート

(利府町まち・ひと・しごと創造ステーション)

建物概要

建物場所	JR 利府駅前
建物面積	約 131 m ²
施設設備	テーブル・キッチン・チェア・エアコン・冷蔵庫等
施設備品	PC・コピー機・電子レンジ・Wi-fi 等
建築費用	2600 万円
備品費用	約 800 万円

利用状況

利用料金は平均約 12 万円/月

利用人数は約 20 人程度/日

カフェ利用の場合：1 日 500 円（ワンドリンク付）

委託販売の場合：1 m²あたり 500 円

運営による成果（今までになかった新たな動き）

起業 4 6 件（スモールビジネスの展開）

新たなまちづくり団体（市民活動団体）5 団体

移住者の交流促進



■ 災害の伝承について（大川震災伝承館・南三陸 311 メモリアル）

①大川震災伝承館

2011/3/11 発生の東日本大震災で、大川地区にある大川小学校を高さ 8.6m の津波が襲い児童 74 名と教職員 10 名が犠牲。「石巻市震災遺構大川小学校」の敷地内に建設されています。

震災前後の写真等のパネルや地域模型、実物資料が展示され、裁判記録を閲覧することができます。

また、隣には震災遺構として津波で破壊された大川小学校が当時のままの状態で保存され、生々しい津波被害の痕跡が伝わってきます。



(石巻市震災遺構「大川小学校」)



②南三陸 311 メモリアル

住民の証言や写真、映像などの資料を継続的に収集・保存され、これらの資料から制作したバナーや証言映像ダイジェストを展示。

エントランスは南三陸町における東日本震災の津波の状況や被害の実態などを展示。展示ギャラリーでは、住民たちの証言をもとに東日本大震災のエピソードや震災遺物資料を展示。アートゾーンでは、フランスの現代美術家クリスチャン・ポルトンスキーによる失われた命を想うインスタレーション空間となっています。

ラーニングシアターは住民たちの証言等で構成され、その映像をもとに自分ごととして自然災害について考えるスペースです。

みんなの広場は、復興を支援してくださったみなさんとの交流の証、震災の住民たちが共に支え合いながら生きる姿、感動を伝える交流スペースとなっています。

展望デッキは、遠くに海が見え、河北新聞の特別記事「ドキュメント防

「災害庁舎」を特別展示しています。



(旧南三陸町庁舎)

■南三陸病院・総合ケアセンターについて（南三陸町役場）

東日本大震災（平成 23 年）で被災した旧公立志津川病院を新たに平成 27 年 12 月、「南三陸病院」として開院。

同時に「総合ケアセンター南三陸」も開庁。

病院は、山を造成した場所に建てられ、①復興のシンボル、まち創りの核、②健康・生活を支える機能性、災害時の拠点、③環境にやさしい自然エネルギーの活用の三つのテーマを建築計画に掲げ、建設費は 55 億 8 千万円。（その内、台湾からの支援金 22 億 2 千万円が使用されています）

病院の病床数は 90 床、診療科目は 10 科目で工期は 16 か月。地上 3 階建て、建築面積 6179.97 m²、延べ面積 12,267.92 m²。

病院等は免振基礎構造を採用。

南三陸町は「石巻・登米・気仙沼」地域医療圏に含まれ、同院は急性期

の一般病棟と療養病棟で構成。

町民の命を守るための地域医療提供サービスは直営で行う、との町長の強い信念の下で建設され、運営に至っている。

病院会計は 18 億円で最終的な赤字額は 2 千万円。町の一般会計から運営費補助として毎年 3 億 4 千万円繰り入れ。

■文化遺産の継承について

(平泉世界遺産ガイダンスセンター・平泉文化遺産センター)

「世界遺産平泉」は、2011 年（平成 18 年）6 月、フランスのパリで開催された第 35 回世界遺産委員会において、世界遺産一覧表に記載されました。

構成資産は、中尊寺・毛越寺・観自在王院跡など 5 か所。

文化遺産継承施設としての平泉世界遺産ガイダンスセンター（県立）は 2021 年に開館。世界遺産としての平泉の価値を理解する施設で、世界遺産登録の経緯や、登録遺産の詳細な説明がされています。有料ですが、経過文字や画像だけでなく、模型や動画、デジタルコンテンツにより、平泉の価値をわかりやすく紹介しています。プロローグでは、シアターで世界遺産の価値や仏国土（浄土）の世界観をワイドスクリーンと床面映像で紹介。

一方、平泉文化遺産センター（町が運営）は、平泉の歴史や文化を学ぶための施設で、平泉の歴史や文化、遺跡の説明などがあり入館料は無料です。

二つの施設は、展示内容や目的が異なっていますが、共に平泉の文化遺産について学ぶことができます。

- ・行政視察の結果を本市にどのように反映させるか

利府町まち・ひと・しごと創造ステーションでは、総合戦略策定から施設「tsumiki」の運営に至るまでの若者（大学生）の関わり方、シティセールスの展開は大いに参考となりました。

石巻市震災遺構大川小学校・大川震災伝承館や南三陸 311 メモリアルの展示などを通して「自然の脅威、生きること」について、わが事として改めて考えさせられました。長浜市で過去に発生した自然災害・震災などをふり振り返りながら一人でも多くの市民にその思い伝えていくことの必要性を感じました。

南三陸病院建設にあたっては、地域医療を守ることが公立病院の使命である、との町長の熱い信念が、国境を越えたイスラエルや台湾からの支援に繋がったことに感銘を受けました。

平泉文化遺産の継承では、展示への工夫やエリア全体を俯瞰的に捉えた解説など歴史に興味をもたせるような施設運営を感じました。

今回の研修をふまえ、今後のまちづくりや防災、歴史文化の継承の取組みに活かしていきたいと思います。